

リスクアセスメント表記入方法

1) 過去1年間の化学物質使用実績確認

CRIS ログイン

検索

検索条件 完全一致 全て

管理部署を選択し、使用日 例) 2018/4/1 から 2019/3/31 検索実行

検索結果は、エクセル書き出し メモリー保存

薬品名ごとの使用重量 (g) 確認

ピボットテーブルで集計もできる

年間 4 kg以上(半年 2Kg)は、環境測定、健診の対象とします。

2) 使用量の多い順にリスクアセスメントを実施する。対象物質のSDSを入手する。

ダウンロードした“riskasess2102”エクセルフォーマットを使用する。

3) SDSを使用し、化学物質の有害性評価を実施(シート下半分有害性評価 利用)。

SDS から、2. 危険有害性の要約の区分を区分記入欄に入力、判定が出る。

9. 物理化学的性質 沸点, 15, 適用法令 参照 入力。

化学物質が多ければ、列追加。

4) リスクアセスメント表(シート上半分)に必要な事項記入し、リスク判定。多ければ、行追加。

日付,

学部, 学科, 講座, 研究室, 部屋番号, 責任教員, CRIS 管理者, 作業主任者 (いれば), 作成者

ばく露レベル A 取扱量 1 から 3 のどれか

B 揮発性飛散性 1 から 3 のどれか

C 換気状態 1 から 4 のどれか

D 作業者の汚染 0 か 1 を, 選択すると, 環境判定が出る。

年間作業時間 1 から 4 のどれか

入力すれば, 曝露レベル判定, リスク判定が出る。

5) 対策を検討し記入。3以上は、対策が必要。

例: 必ずドラフト内で行う。

6) 下欄に、昨年1年間の使用薬品量, 作業環境測定結果 (あれば), 特殊健診受診者を記入。

7) 研究室に掲示し職員, 学生に周知する。

8) 部局化学物質総括管理者宛て送信